

～作業と業務の効率化、安全性向上、快適な職場環境づくりを目指す～
実践で学ぶ！
5Sで進める現場改善

研修のねらい

生産現場において、すぐには必要とされない材料や工具、さらに仕掛品が数多くあると、作業を妨げ、ムダを生み、企業利益を圧迫する原因になります。

本研修では、現場でのムリ・ムダ・ムラを発見し、整理・整頓・清掃・清潔・躰（5S）と見える化を実現する手順を学びます。また、インターバルを活用して自社で5S活動に取り組むことで、自社・自部門の現場改善と改善活動定着手法を身につけます。

研修のポイント

- ✓ 5Sの視点で職場の問題点を把握する方法が学べます。
- ✓ 現場のムダの見つけ方と排除の仕方が学べます。
- ✓ 実際に自社・自部門の現状を持ち寄り、改善のポイントと方法を学べます。
- ✓ 希望者には研修後に講師と対面によるフォローアップを行います。

研修期間

2026年
5/19火～**5/20水**
 (2日間、14時間)

6/16火～**6/17水**
 (2日間、13時間)

対象者

管理者・新任管理者

- ・ 5S活動の推進リーダーの方
- ・ 自社の5S活動を見直したい方
- ・ 整理整頓を定着させたい管理部門の方

定員 **20**名

受講料 **39,000**円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
 大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
5/19 火	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	現場改善の取り組み方	生産現場のリーダーがどのような視点で現場に対する問題意識を持ち、役割を果たしていくべきかを理解したうえで、改善活動への取り組み方について、事例を交えて学びます。また、現在抱えている課題をグループでまとめ、共有化を図ります。 ・ 生産現場の基本構造と現場改善の必要性 ・ 生産現場の管理者の役割と行動 ・ 現場改善の具体的な取り組み方
	13:40-17:40	「5S」と「見える化」による改善活動の進め方(演習)	ムダを省き、現場の管理能力を高め、利益を向上させる「5S」と「見える化」の本質や、その段階的な導入手順と定着・展開の仕方について、演習や改善事例などにより習得します。 ・ 作業事例をもとに「ムダ取り」の検討 ・ 「5S」「見える化」の考え方と進め方 ・ 「5S」「見える化」「ムダ取り」の関係性
5/20 水	9:30-12:30	5S改善計画と「5S」「見える化」の定着化	上記の演習を踏まえ、自社の5S改善計画を立て、発表を行います。「5S」「見える化」の定着化と全社的な展開方法を学ぶとともに、自社でのあり方を検討し、まとめます。 ・ 自社実践5Sプランシート作成【演習】 ・ 定着化のしくみと全社的な展開の仕方 ・ 自社の現場改善に向けたチェックポイント
	13:30-17:30		
インターバル課題「職場での5S活動の実践」前半での学びを活かして、5S活動の実践に取り組みます。			
6/16 火	9:30-12:30	現場実践の振り返りと「5S」と「見える化」のマネジメント(演習)	自社の5S改善計画の現場での実践結果を振り返り、課題の抽出、改善方法の検討、新たな改善計画の作成を行うとともに、5Sと目で見える管理のマネジメントのあり方を学びます。 ・ 自社実践5S改善活動の発表 ・ 事例で学ぶQCDを高める「5S」「見える化」のマネジメント ・ グループ演習による新たな改善方法の検討、改善計画の作成
	13:30-17:30		
6/17 水	9:30-12:30		
	13:30-16:30		
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：27時間20分
 ※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



株式会社実践マネジメント研究所
 代表取締役
植條 英典(うえじょう ひでのり)

中堅家具メーカーの経営企画室にて経営管理業務に従事した後、中村技術士事務所に入所し、その後(株)ビジテック創設に参画し、同社取締役就任。平成16年、実践マネジメント研究所を設立、平成28年、法人成り。工程管理、生産性向上対策、品質改善活動等を中心に、コンサルタント活動を行う一方、全国各地で企業のコンサルティングの他、中小企業大学校、大阪府工業協会、兵庫工業会、日本IE協会、四国生産性本部、わかやま産業振興財団、大阪産業振興機構、海外研修(マレーシア)等でのセミナー講師としても活躍中。
 モットーは「常に企業は人なり」「改善に終わりなし」「ご安全に!!」

- ・ 5S活動は取り合えず身の周りの掃除でもしてあげたいと思う程度でしたが、考えが変わりました。